令和８年度　第１回　草津市スポーツ推進審議会　会議録

■日時　　：令和８年９月２８日（月）１８時００分～２０時００分

■場所　　：草津市役所　６階　教育委員会室

■出席委員：岡本委員、杉田委員、木村委員、村上委員、藤澤委員、金村委員、橘委員
辻委員、則武委員

■欠席委員：石原委員

■事務局　：奥谷理事、小寺総括副部長、
辻副部長（学校教育課長）
学校教育課　　黒崎専門員
スポーツ推進課　遠藤課長、髙倉課長補佐、岩瀬係長、小林主査、西澤主査

■傍聴者　：０名

１　開会

【事務局】

平素は、市政全般、とりわけスポーツ行政に対して、多大なる御支援御協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、この度はお忙しい中、草津市スポーツ推進審議会委員に御就任いただきまして、重ねて御礼申し上げます。

昨年度は、「わたＳＨＩＧＡ輝く国スポ・障スポ２０２５」、本年度は「全国高等学校総合体育大会」が開催され、多くの関係者の方、またボランティアの方々、そして企業の皆様から御支援をいただき、大いに盛り上げることができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

また、ハード面では、国スポ・障スポの開催に合わせて、全国に誇れる「インフロニア草津アクアティクスセンター」の新設を始め、その他スポーツ施設の改修等も行い、スポーツ環境の充実を図ってきたところでございます。

これらをレガシーとして来年度「ワールドマスターズゲームズ関西２０２７」の開催およびまちの活性化にも繋げていきたいと思っております。

そのような中、今年度は「第３期草津市スポーツ推進計画」の１年目でございます。昨年度、本審議会でも審議いただき、策定をいたしました。こちらの計画は、１人でも多くの方にスポーツと出会い、繋がり、そして健幸になってほしいという想いが込められています。

本市の更なるスポーツの振興のために、本日は限られた時間ではございますが、皆様から様々な御意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願いします。

２　委員自己紹介

・　資料１に沿って自己紹介

３　審議案件

（１）役員の選出について

・　会長　　・・・岡本委員（立命館大学スポーツ健康科学部教授）

・　副会長　　・・・村上委員（公益社団法人草津市スポーツ協会理事長）

（２）令和７年度草津市スポーツ推進計画の点検・評価について

・　資料３，４に基づき事務局より説明

会長　　滋賀県民スポーツ大会の結果が４位であったが、要因は何か。

委員　　草津市の出場競技が少なく、参加点を稼げなかったことが大きい。参加点を除けば、全体３位であった。

会長　　参加団体の確保という面では、少々不十分であった。
次に、小学校５年生の体力テストの結果について現状に関してコメントをいただきたい。

委員　　男子は達成、女子は未達成であるが、女子も昨年度の点数から大きく変化はない。小学校では、過去は様々な記録会があったが、近年なくなっているが、草津体育プロジェクトに取り組み、いかにこどもたちが楽しめる体育の授業づくりができるかに注力している。「運動・スポーツが好きなこどもの割合」の結果には、あまり反映されていないが、今年度も市内の体育主任を中心に、指導者講習会を開催し、先生の運動の得意、不得意に関わらず、誰が教えてもこどもたちが楽しみ、体力がつくよう取り組んでいきたい。過去の結果から分析すると、スポーツ少年団などで運動を頑張ってする人としない人の二極化が進んでおり、運動が好きではない人も楽しめるような取り組みを学校だけでなく、市全体でやっていきたいと考える。

会長　　全国的に新体力テスト結果の平均値を上げている県はあるか。他府県、他市町の状況はどうか。

事務局　　調べられていないので、次回までに調査しておく。

会長　　スポーツ協会は、チャレンジスポーツデー等自己評価が低いが、要因はあるか。

委員　　チャレンジスポーツデーは、参加者が以前に比べると大きく減少しており、今後の取組方法について検討が必要な時期にきていると考えている。こどもたちがスポーツを楽しむことを重視し、スポーツ少年団でアクティブチャイルドプログラムや、９月には、県の事業を草津で実施していただいた。県の事業

は８０名参加いただいた実績がある。アスリートの育成だけでなく、スポーツが楽しいと思ってもらえるような取り組みを行っていきたい。

（３） 第３期スポーツ推進計画について

・　資料５に基づき、事務局から説明。

（４） 令和８年度以降の取組について（案）

・　資料６，７，８に基づき、事務局から説明。

◆　基本方針１　こどもの体力向上と運動・スポーツ活動の推進について

会長　「放課後の運動スポーツの体験会開催（案）」において、関係団体の協力を得るということが提案されている。スポーツ協会としては、こどものスポーツ機会の創出は必要な対応であるが、指導者の確保も含めて意見をいただきたい。

委員　指導者が活動できる時間が限られているため、人材の確保が課題である。親が指導者として参加していても、こどもがスポーツ少年団を卒団すると同時に辞めてしまうケースもある。

委員　開催場所は、小学校であるが、参加するこどもたちは授業終了後、一旦帰宅せずにそのまま残って参加する想定か。

事務局　参加するこどもたちは、帰宅せずそのまま残って参加をする想定をしている。

委員　良い取り組みだと思うが、一旦帰ると再度学校へ行くことは難しく、働いている親が多い中で、送迎も必要になるのでどのような想定か質問させてもらった。

会長　体育振興会連絡会はいかがか。

委員　渋川学区は、学区運動会でこども向けや大人向けの種目を準備している。ほかにもこども向けのイベントがあるので、そういったところからスポーツの楽しさを感じてほしい。

事務局　この事業は、各種競技スポーツや、ニュースポーツ、体の動かし方を学ぶなど、様々な体験ができるものであって良いと思う。しかし、放課後に実施する場合、指導者の確保や下校の課題もあるので、まずは試験的に進めることを検討しており、こどもたちをどのように安全にお預かりするかも含め、意見をいただきながら進めてまいりたい。

会長　部活動の地域移行について、学校教育課から補足説明をお願いする。

事務局　中学校の部活動が地域からの協力を得て、様々な体験機会を増やしていくというもので、今後こどもが減少していく中で、学校では人数が少ない部活動に顧問を配置することが難しくなり、部活動が減少すると、選択肢が減少し、本当にやりたいことができないこどもたちが増えることが危惧される。そこで

地域の人に協力してもらい、活動の種類を増やすことを目的としているものである。また、運動だけではなく、文化的、芸術的な活動も含めて選択肢を増やし、草津市としては、国が示す部活動の地域展開を、今後「草津市なり」に進めていこうと考えている。

会長　　中学校の先生方の業務負担が増加する中で、草津市はどんな方針をとるのか、草津市中学校保健体育連盟として意見はあるか。

委員　　今の草津市の現状として、新堂中学校では１２の部活があり、今年度は６名の指導員の方がいる。本校だけでは人材確保が難しく、他の業務で引率できない日もあるため、スポーツの関係団体や大学等との連携は、大変ありがたい。また、傾向として、現在本市は、平日の月曜日と水曜日は部活停止とし、以前よりも部活動の時間が減少しているが、夏の大会では、１０個の運動部のうち、７個の部活が県大会に出場することができた。短時間でも集中して取り組むということができていると思う。

委員　　草津市では、複数の学校が合同で部活動を行う取組はあるのか。また、草津市の特徴はあるか。

事務局　　現時点では、学校をまたいで合同で部活動をしているところはないが、これまでも試合に必要な人数に満たない学校は市をまたぎ、合同チームを結成して中体連に出ることはあった。こどもたちへのアンケート調査では「友達と過ごす時間が充実しているから部活動も楽しい」という回答を得ており、できるだけ学校単位で部活動を進めたいと考えている。そう考えると、市内の中学校運動部・文化部合わせて、今現時点で８０部活あり、単純に考えても８０人の指導者が必要である。さらに顧問の先生は、複数配置が望ましいことから、さらに人数が必要となり、指導者の確保については御協力をお願いしたい。

委員　　部活動の場所は、それぞれの中学校で実施することが理想か。例えば中学校で部活をする限り、教員の働き方改革にはならないので、ほかの場所でできるのであれば教員の負担は軽減しないか。

会長　　小さな競技団体は県内全域から中学生集めている。例えば、湖上競技は、瀬田川に県内全域から人を集めており、湖北では、ホッケーを複数の中学校の生徒を集めている。そのほか、レスリングは、滋賀県の得意競技であり、一校ではなく、近隣市町の学校が集まって実施している。競技団体によっては、取り組みの方法が変わってきており、今後加速すると思う。よって、小規模な競技団体は県の競技団体に任せ、他は「草津市なり」の取組方針を作るため、我々が案を出していくことが大切で、スポーツ協会には、競技団体としてのマネージメントの部分で力を借りる必要が出てくると思う。

委員　　プールや武道館など市内施設も充実している。中学校に活用していただいている施設もある。競技団体の状況に応じて、できることはあると思う。

会長　　最後にまとめると中学校の部活の在り方の変化について、草津市独自の在り方を考えていかなければならない。行政だけの力では難しい部分もあるという課題をもって、次回以降進めていく必要があると思う。

◆　基本方針２　生涯にわたる運動・スポーツ活動の推進

会長　　情報発信のところで、スポーツ推進委員協議会は意見があるか。

委員　　ニュースポーツについて出前講座の依頼があれば指導させていただいており、夏休み子ども運動教室なども開催させていただいているが、発信することは大切であると考えている。学区や学校で開催しているが、知らない人も多く、発信は大切である。先ほど提案された「放課後の運動・スポーツの体験会」について、我々は専門的なスポーツの指導はできないが、ニュースポーツは、楽しむことがメインで、誰でもできて、世界大会もあるという幅が広いスポーツであるため、広く発信していただきたい。

会長　　行政としては、他課と協力して発信することはできるのか。

事務局　　発信の仕方もいろいろあるが、文化とスポーツの両面で発信するという方法も考えられるし、広報課やまちづくり協働課との連携も一つのやり方である。様々な課と連携しながら進めていきたい。

会長　　健康推進員連絡協議会として何かあるか。

委員　　ニュースポーツの出前講座は良い取り組みだと思う。まちづくりセンターに来てもらってもよいのではないか。また、情報発信については広報だけでは目を通さない人もいる。効果的な情報発信は大切だと思う。

会長　　各年代のスポーツ実施率について、くさつ健・交クラブで日頃感じていることはあるか。

委員　　くさつ健・交クラブの会員は、シニア世代と小学生以下が主で、働き世代に会員になっていただくことが難しい。シニア世代の方も、近年減少傾向にある。子育て世代については、スポーツ推進委員に協力いただき親子運動教室を企画したり、親子テニス教室やサッカー教室を開催したり取組を行っている。

会長　　「+１０（プラステン）」という考え方は浸透しているか。

委員　　私は初めて聞いた。

会長　　「+１０（プラステン）」は、「１０分でもいいので時間を見つけて、少し体を動かそう」という考えからできた言葉であるが、もっと広報していくことによって、中高年のスポーツ実施率が上がるのではと思っている。「+１０（プラステン）」は、厚生労働省が提案しているが、それを受けて、我々が効果的に発信できていない状況であり、階段でかかとの上げ下げを行う、テレビ見ながらスクワットをするなど簡単な動作であるため、事例を発信することにより、計画にある「中高年のスポーツ実施率」の上昇に繋がるのではないか。皆さんにも発信方法を検討いただければと思う。

◆　基本方針４　運動・スポーツ環境の充実

会長　　中学校や小学校の施設を使用する場合に、管理責任はどうなるのか。

事務局　　実施体制によるところもあるので、事業の内容によって異なる。

会長　　施設利用の際の管理責任については、大事だと思う。
国スポでは多くのボランティアを活用したが、その運用スキルは引き継がれているのか。

事務局　　国スポでの経験がある職員も引き続き従事しており、マニュアルはないが、ボランティア登録も制度化したので、引継ぎはできていると考えている。

会長　　特定の人に頼った体制は、人員変更により仕組みが消えてしまうことがある。どう残していくかは議論していくべきで、次年度「ワールドマスターズゲームズ関西２０２７」もあるため、ぜひ仕組みの整備をしていただきたい。
また、国スポのときから「スポーツツーリズム」の促進を行っている。高齢者が参加する大会を開催し、草津市へ訪れていただく機会を創出すれば、経済の活性化にも繋がるのではないかと考える。継続が大切である。

◆　各基本方針の目標設定について

会長　　目標設定について、特に中高年の運動実施率は、目標値に近づけるのは難しいが、考え方や捉え方を整理してもよいのではないか。例えば、「＋１０（プラステン）」の考え方が浸透しているかどうかで、結果に影響すると思う。現状、週１回３０分以上のスポーツ実施率を測る設問であるが、働き世代は、時間をつくることが難しい。３０分も時間がとれず、１０分しかやっていないという人も多いかもしれない。市民にスポーツをし続けていただくための発信をしながらアンケート調査を進めていく必要があり、そういった背景も含めて、今後目標値の設定を決める際、考え方や捉え方を整理してもいいと思う。「＋１０（プラステン）」がもう少し浸透するような質問があってもいいと思うので、皆様にも御意見を賜りたい。

６　閉会

【事務局】

本日は長時間にわたる議論いただきましてありがとうございます。また皆様方には、様々な角度から貴重な御意見を賜りまして、御礼を申し上げます。

草津市においては、健幸都市を進めています。これは、健康と幸せということであるが、スポーツを通じた健幸作り、それからまちの活性化、そしてスポーツの機運を高めていけるように、本日の議論を踏まえ、スポーツ推進計画の各種取り組みを進めてまいります。

皆様には今後も御協力と御指導をお願い申し上げまして、簡単ではございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。